宇和島
uwajima

「伊達博物館改築事業の概要について 」



令和８年10月

宇和島市教育委員会　伊達博物館

目　次

1．　改築事業の概要

（１）現在の伊達博物館の課題と現状　p. **3**

（２）これまでの経緯　p. 4

（３）新伊達博物館で掲げる理念・使命　p. 5 ～ 7

（４）新伊達博物館に求められる機能と必要な規模　p. 8 ～ 1 1

2．　必要な経費について

（１）事業費総額　p. 1 2

（２）維持管理費　p. 1 3～1 4

3．　今後のスケジュールについて　p. 1 5

資料集　p. 1 6～2 0

１．改築事業の概要

（１）現在の伊達博物館の課題と現状

新博物館の理念・使命を実現するにあたり、現博物館が抱える課題等を検証

	課題	現状（詳細は参考資料P.17～18のとおり）
ハード	建物設備の経年劣化	・築５０年近く（Ｓ４９年開館）経過し、建物設備老朽化による修繕が頻発している。古い建物のため耐震性がなく、被災による資料破損、損失の恐れ。
	構造的な狭さ	・収蔵庫や倉庫の容量が不足、資料受入れのため拡充が必要。 ・学芸員の作業場所が不足、調査研究のためのスペースが必要。 ・来館者の休憩スペースやサービス拡充のための研修室等が必要。
	その他	・ユニバーサルデザイン対応が必要。 ・音声ガイドや多言語化が必要。
ソフト	マンパワー不足	・保存資料の調査研究拡充が必要。 ・資料の整理とその公開が必要。 ・研究紀要や年報などの刊行物の発行が必要。 ・館蔵品の修繕や保存環境に関する技術知識向上が必要。
	展示テーマが限定的	・伊達家関連の実物資料の展示構成だけではなく、宇和島圏域全体の歴史文化についてのわかりやすい紹介が必要。 ・市民や子どもたちに向けた学習機会の充実が必要。
	その他	・観光への回遊性向上、地域振興への貢献が必要。

１．改築事業の概要

（２）これまでの経緯

伊達博物館の設置

・旧市制５０周年（昭和４６年）を記念し、昭和４９年に開館
・総入館者数は約１４１万人（５２年間、年平均約２万７千人）※入館者数及び特別展入館者数（年度別）は参考資料P.19のとおり
・大規模改修（平成２年度　機械設備等）、（平成２５年度　雨漏対応等）

改築の必要性（老朽化、非耐震）
※第２次宇和島市総合計画（平成３０年３月）より
「**老朽化が著しく、早急な建て替え**の計画及び建設が必要」
「高度化、多様化する市民ニーズに対応できる**市全体の総合的な博物館として拡充**」

建替委員会の設置

（平成３１年３月）

・基本構想策定　（令和元年７月）　※パブリックコメント
・基本計画策定　（令和３年２月）　※パブリックコメント、市民説明会（計７回）

設計業務

・基本設計完了　（令和４年８月）　※パブリックコメント、市民説明会（計７回）
・実施設計完了　（令和５年８月）

１．改築事業の概要

（３）新伊達博物館で掲げる理念・使命

①新博物館における２つの基本理念（改築事業基本構想　令和元年策定）

地域の歴史文化の再生、共創の象徴となるべき博物館

宇和島全体の歴史文化の魅力を紹介する

新博物館では、旧宇和島地域のみならず吉田、三間、津島も含めた宇和島圏域全体の歴史文化をわかりやすく紹介し、歴史文化のプラットフォームとなる博物館を目指す。





新しいまちづくりと景観の美しさの象徴となるべき博物館

「伊達文化エリア」全体の魅力を向上させる

新博物館を中心として、天赦園、天赦公園、現博物館敷地等を含めた「伊達文化エリア」全体の魅力を向上させ、観光交流人口拡大、市民の利用頻度向上に貢献できる博物館を目指す。





１．改築事業の概要

②新博物館の使命（改築事業基本構想　令和元年策定）

新しい博物館は、かけがえのない地域の財産である歴史文化を保全・継承して、その魅力を広く発信するために、以下の使命を掲げて活動します。

宇和島の歴史文化の継承

市民の知的関心に応えるため、歴史文化に係る資料及び情報を収集し、それを調査研究し、展示・普及させることで、歴史博物館としての役割を果たします。

郷土学習市民交流の促進

地域の歴史文化に対する市民の理解を深め、また、理解しようとする人々の交流を促進し、良い未来に向かって市民とともに新しい価値を創造します。

伊達文化エリアの観光拠点化

魅力ある財産として地域の歴史文化に光をあて、その活用を通して、観光を中心とした地域振興に貢献します。

１．改築事業の概要

宇和島 uwajima

＜参考＞博物館法の改正

これからの時代にふさわしい博物館のあり方

資料の①収集・保管、②展示・教育、③調査・研究といった博物館に求められる役割・機能を維持しながら、

「まちづくり・国際交流、観光・産業、福祉等の関連機関との連携」（文化芸術基本法）※平成２９年施行

「文化財をまちづくりに活かすなど、地域文化財の計画的な保存・活用の促進」（文化財保護法）※令和元年改正

「博物館の文化観光拠点施設としての役割」（文化観光推進法）※令和２年施行

といった役割の多様化、高度化が求められている。

※令和３年１２月「博物館法制度の今後の在り方について（答申）」（文化庁）より抜粋

↓

博物館に求められる役割が多様化・高度化していることを踏まえ博物館法が改正（令和５年４月１日施行）

【改正前】
・社会教育施設として、資料の
①収集・保管
②展示・教育
③調査・研究を行う機関

＋

【改正後】
・地域の多様な主体との連携・協力による文化観光
など**地域の活力の向上への寄与**を努力義務化

１．改築事業の概要

（４）新伊達博物館に求められる機能と必要な規模

新博物館に求められる機能

テーマ	ハード	ソフト
①まもる 「文化財を守り伝える」 資料の保全に万全を期し、引き継がれた歴史文化を確かに次世代につなぐ。	・防火、防犯及び防災を意識した構造や建物設備。 ・十分な広さを持ち、温湿度管理が徹底できる収蔵庫。（公開承認水準） ・安全かつ効率的に収蔵、展示することのできる棚やケース。	・修繕や保存環境に関する知識習得による学芸員の資質向上。 ・地域の歴史文化資料の散逸や破損等を防ぐための資料収集活動。 ・収集した資料を体系的に管理できるデータベースの構築。
②みせる 調査研究によって新たな事実や価値を発見し、歴史文化の魅力を広く発信する。	・映像や模型等、わかりやすく伝えるための展示器具。 ・実物資料をしっかりと見せるための展示空間。 ・すべての人が安心して見ることのできるユニバーサルデザイン。	・国宝等を借用した企画展を実施し、文化財への興味喚起と誘客を図る。 ・収集した資料、図書及び調査研究成果をまとめた刊行物等の発行。 ・市民や子どもたちに向けた歴史講座等の学習機会の充実。
③いかす 宇和島市の特徴とすばらしさに気づき、人々が集い、誇りと活気に満ちたまちづくりを目指す。	・景観と調和したうえで、地域の景観づくりに寄与できる建築デザイン。 ・市民が日常的に気軽に利用し、くつろぐことができる滞在空間。 ・エリア周辺の施設等との連動性を意識した動線の構築。	・博物館をはじめとするエリアの魅力をPRすることのできる宣伝広告。 ・にぎわいを創出することのできるイベントの開催。 ・伊達文化エリアや市内全域を回遊することのできるしくみづくり。

1．改築事業の概要

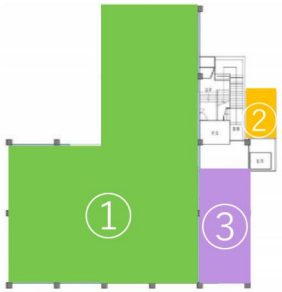
規模の新旧比較

現博物館

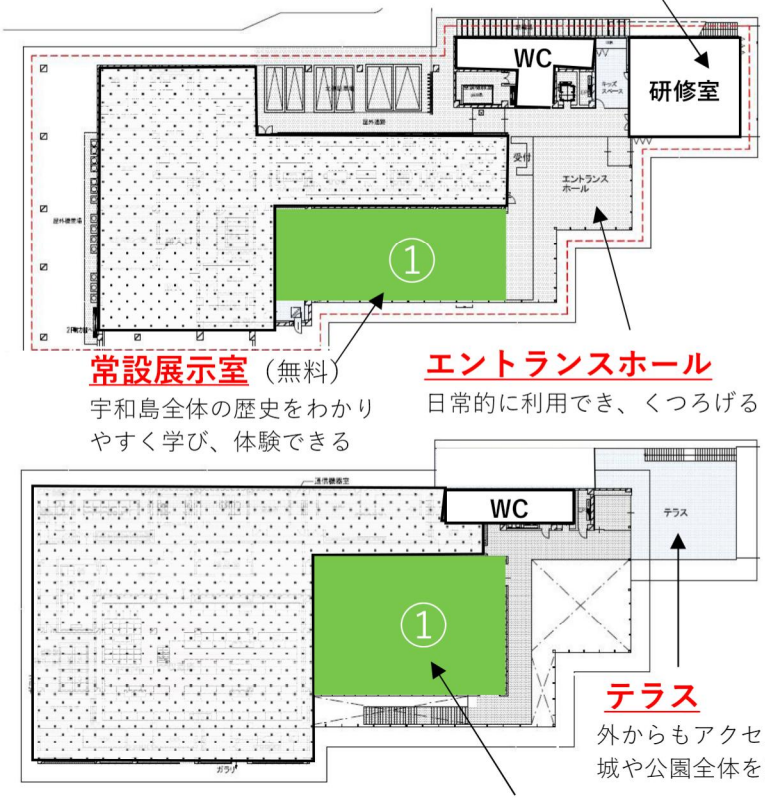
1階



2階



新博物館



研修室
ワークショップ、
イベント等で活用

常設展示室（無料）
宇和島全体の歴史をわかり
やすく学び、体験できる

エントランスホール
日常的に利用でき、くつろげる

テラス
外からもアクセス可
城や公園全体を望める

企画展示室
展示品を引き立たせる空間
収蔵環境も整備

※貴重な資料を津波から守るため展示や収蔵スペースは２階に設置

現博物館	
①展示スペース	700㎡
以外のスペース	800㎡
1,500㎡	

展示スペースとそれ以外の
面積比率はおよそ　1：1

新博物館	
①展示スペース	790㎡
以外のスペース	3,750㎡
4,540㎡	

展示スペースとそれ以外の
面積比率はおよそ　**1：5**

展示以外の機能充実のため参考となる
比率は約１：５程度（※P.11参照）

１．改築事業の概要

規模の新旧比較（各スペースごと）

現博物館　1,500㎡

①展示スペース		②学芸スペース		③収蔵スペース		④機械スペース		⑤管理共用部分	
1階展示室	400㎡	作業準備室	25㎡	1階収蔵庫	30㎡	機械室	120㎡	事務室	35㎡
2階展示室	300㎡	荷ほどき室	25㎡	2階収蔵庫	55㎡			会議室・研修室	0㎡
		学芸員室等	15㎡					ホール・WC・通路等	495㎡
700㎡		65㎡		85㎡		120㎡		530㎡	

+90㎡（1.1倍）　+270㎡（5.2倍）　+365㎡（5.3倍）　+375㎡（4.1倍）　**+1,940㎡（4.7倍）**

新博物館　4,540㎡

①展示スペース		②学芸スペース		③収蔵スペース		④機械スペース		⑤管理共用部分	
常設展示室（映像スペース含む）	400㎡	作業準備室	140㎡	収蔵庫	405㎡	空調機械室	250㎡	事務室	80㎡
企画展示室	390㎡	荷ほどき室・搬入口	100㎡	一時保管庫	45㎡	電気通信室	145㎡	会議室・研修室	210㎡
		学芸員室等	95㎡			衛生室等	100㎡	ホール・WC附属棟等	2,180㎡
790㎡		335㎡		450㎡		495㎡		2,470㎡	

１．改築事業の概要

必要規模について類似施設事例からの検証

近年に開館した博物館では延床面積の**約２０％が展示**に使われ、**約１０％が収集保存**のために使われている。
（右記、近年開館の類似施設事例参照）

役割の多様化・高度化により**展示スペース以外の割合が増加**

⇩

新伊達博物館では**求められる機能の拡充、拡大を図る**

⇩

１：５

近年開館の類似施設事例

施設名	延床面積（開館年）	展示面積（割合）	収蔵面積（割合）	展示面積比率
静岡市立登呂博物館	2,297㎡（H22）	319㎡（14%）	154㎡（7%）	1：6.2
富山県立高志の国文学館	3,070㎡（H24）	671㎡（22%）	327㎡（11%）	1：3.6
区立すみだ北斎美術館	3,279㎡（H28）	756㎡（23%）	292㎡（9%）	1：3.3
県立高知城歴史博物館	6,220㎡（H28）	951㎡（15%）	1,040㎡（17%）	1：5.5
市立大野城心のふるさと館	3,266㎡（H30）	553㎡（17%）	258㎡（8%）	1：4.9
さいたま市岩槻人形博物館	2,029㎡（R1）	444㎡（22%）	314㎡（15%）	1：3.6
市立伊丹ミュージアム	6,001㎡（R4）	931㎡（16%）	604㎡（10%）	1：5.5
上記７館の平均割合		19.5%	11%	1：4.7
現伊達博物館	1,505㎡（S49）	698㎡（46%）	85㎡（6%）	1：1.2
新伊達博物館	4,539㎡（R9予定）	793㎡（18%）	450㎡（10%）	1：4.7

※「博物館研究」（日本博物会協会発行）5月号にて毎年２館程度、新たに開館した博物館の詳細情報が掲載されており、過去１５年間分のうち、規模や展示テーマが類似している博物館のデータから算出した。

2．必要な経費について

（1）事業費総額

伊達博物館改築事業費（R8.10月現在）

項　　目			概算額（R8.9月補正後）	契約済額 R7.12月現在
第2期都市再生整備計画事業	設計費等	建築設計費	139,000	139,117
		展示設計費	47,000	47,300
		CM業務	42,000	41,580
		土質調査費・用地測量費	13,000	13,396
		小　　計	241,000	241,393
	工事費等	建設工事費	4,629,000	4,427,340
		工事監理費	42,000	41,910
		展示製作業務費	800,000	799,700
		小　　計	5,471,000	5,268,950
合　　計			5,712,000	5,510,343

項　　目			概算額	概算額
市単独	開館準備費	資料移設費	150,000	150,000
		備品・開館準備費		
合　　計			150,000	150,000
第3期（予定）	跡地整備費	現博物館解体費	150,000	150,000
		公園整備費		
合　　計			150,000	150,000
総事業費（概算）			**6,012,000**	**5,810,343**

財源内訳

項　　目	概算額（R8.9月補正後）	概算額 R7.12月現在
国庫支出金 【都市構造再編集中支援事業】	2,176,000	2,176,000
市債 【合併特例事業債（充当率95%、交付税導入率70%）】 【過疎対策事業債（充当率100%、交付税算入率70%）】	3,393,000	3,198,200
一般財源	443,000	436,143
総事業費（概算）	**6,012,000**	**5,810,343**
市の実質的な負担額（見込）	**1,461,000**	**1,395,603**

2．必要な経費について

（2）維持管理運営費（試算）の増減

【支出】

（単位：千円）

	①R5新博物館 維持管理運営費			②R10新博物館 維持管理運営費			増減（②－①）		
	直営+指定管理	直営	指定管理	直営+指定管理	直営	指定管理	直営+指定管理	直営	指定管理
	170,000	48,000	122,000	177,500	83,000	94,500	7,500	35,000	△ 27,500
人件費	70,000	33,000	37,000	77,800	41,800	36,000	7,800	8,800	△ 1,000
㋐ 学芸部門	33,000	33,000		41,800	41,800		8,800	8,800	0
㋑ 事務部門	37,000		37,000	36,000		36,000	△ 1,000	0	△ 1,000
事業費	72,000		72,000	74,000	25,000	49,000	2,000	25,000	△ 23,000
㋒ 施設維持管理費	57,000		57,000	58,000	25,000	33,000	1,000	25,000	△ 24,000
事務諸費	4,000		4,000	5,000		5,000	1,000	0	1,000
㋓ 広報・サービス諸費	11,000		11,000	11,000		11,000	0	0	0
学芸費	15,000	15,000		16,200	16,200		1,200	1,200	0
事務諸費	15,000	15,000		16,200	16,200		1,200	1,200	0
管理費（指定管理）	13,000		13,000	12,000		12,000	△ 1,000		△ 1,000
ショップ売上				△ 2,500		△ 2,500	△ 2,500		△ 2,500
合計	170,000			177,500			7,500		7,500

【収入】

	①R5新博物館			②R10新博物館			増減（②－①）		
施設利用収入	直営+指定管理	直営	指定管理	直営+指定管理	直営	指定管理	直営+指定管理	直営	指定管理
施設入館料	15,000	15,000		18,000	18,000		3,000	3,000	
研修室使用料	500	500		500	500			0	
運営収入	直営+指定管理	直営	指定管理	直営+指定管理	直営	指定管理	直営+指定管理	直営	指定管理
ショップ売上	2,500		2,500	2,500		2,500			0
合計	18,000	15,500	2,500	21,000	18,500	2,500	3,000	3,000	0

※収支予算書は申請者が提案を行い、提案に基づく金額を協定によって定める。イベント等の具体例は参考資料P.20のとおり

2．必要な経費について

（2）維持管理費　－　運営体制の検討

		直営	指定管理（一括）	直営（学芸部門）＋指定管理（事業部門）
全般	市の方針反映	○	△	○
	事業の安定性・継続性	○	△	△
	人事・会計などの柔軟性	△	○	○
学芸部門	学芸員の育成・専門性の確保	○	△	○
	長期的視点に立った調査・研究の継続性の確保	○	△	○
事業部門	ニーズに応じた迅速・柔軟な事業展開、サービス提供	△	○	○
	柔軟なスタッフ配置	△	○	○
	効果的な広報・宣伝	△	○	○

新博物館の使命

宇和島の歴史文化の継承　郷土学習 市民交流の促進　伊達文化エリアの観光拠点化

を具現化するためには、

☆貴重な文化的資料を安全かつ継続して後世につなぐ

☆ニーズや社会状況に応じた柔軟なサービスを提供する

ことが、重要

市としては、

学芸部門は直営、事業部門に指定管理制度を導入

することで、行政・民間それぞれの強みを生かし、連携・協力して運営することが最適と判断

指定管理者制度導入スケジュール（案）



３．今後のスケジュールについて

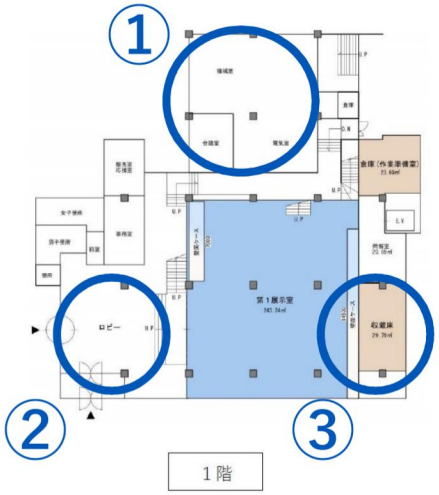
令和１０年春のオープンを目指します。



参考資料

１．改築事業の概要

（２）現在の伊達博物館の課題と現状　ハード面の現状



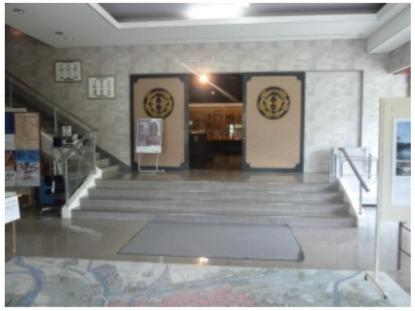


① 機械室



修繕等が頻発する機械類。
保存環境のために整備が必要。

② エントランス



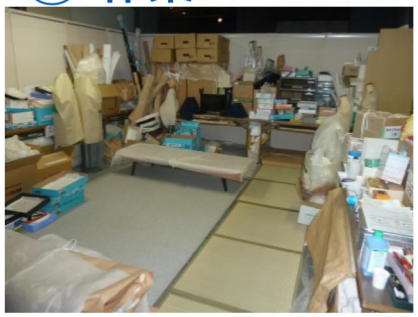
来館者の休憩スペースや、
ユニバーサルデザインが必要。

③ １階収蔵庫



容量超過で資料が通路にはみ出す。
津波に備え２階に設置する必要。

④ 作業スペース



展示室の一部を作業場所に利用。
効率的な作業スペースが必要。

⑤ ２階収蔵庫



借用資料の一時保管庫として利用。
将来分も含めた充分な広さが必要。

⑥ 学芸員室



手狭だが３名で利用。
調査研究スペースが必要。

１．改築事業の概要

（２）現在の伊達博物館の課題と現状　ソフト面の現状

年間５～６回の展示替えのため
展示関連業務が過密となっている

・展示に係る計画（交渉、各種申請、契約等）
・資料の搬出入（調査、検品作業）
・展示解説文作成（解説パネル、図録等）
・印刷物作成（チラシ、目録、看板等）
・資料の陳列（開梱、撤去、梱包）


展示器具搬入の様子


資料の開梱は慎重に実施

＋

保存資料の整理や調査研究

館蔵品	点数	保存会	点数
古文書	544	古文書	32,776
美術品	2,296	美術品	8,000
総計	2,840	総計	40,766


未調査の文書箱

研究成果の公開　※現状は図録のみ

年報　：年間事業報告など
研究紀要：調査研究や収蔵資料解説
調査報告：資料の調査報告
資料目録：収蔵資料をリスト化し紹介
図録　：企画展示資料の図版や解説

歴史文化をわかりやすく紹介する

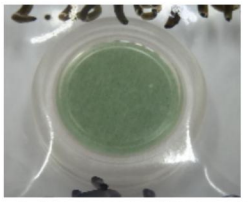
令和4年度の主な展示テーマ
・宗城交遊録－水戸徳川家とのつながり－
・受け継がれゆく宇和島藩の泉貨紙
・豊臣秀吉像修理後初公開記念特別展

子どもたちにもわかりやすいテーマにする必要


展示のほとんどが実物資料

修繕や保存環境に関する技術知識向上


修繕が必要な鎧


色で判断する環境調査試薬

１．改築事業の概要

（２）これまでの経緯

伊達博物館入館者数及び特別展入館者数（年度別）

年　度	年間入館者数	累　計	特　別　展	特別展入館者数
昭和49年	84,659	84,659	高畠華宵展	6,531
昭和50年	72,645	157,304		
昭和51年	53,674	210,978	伊達政宗・秀宗展	11,573
昭和52年	56,524	267,502		
昭和53年	46,912	314,414		
昭和54年	50,995	365,409	妙心寺名宝展	12,960
昭和55年	38,388	403,797	児島惟謙展	5,050
昭和56年	36,219	440,016		
昭和57年	39,103	479,119	村上天心展	3,973
昭和58年	40,778	519,897	懐かしの宇和島写真展	5,740
昭和59年	45,119	565,016	伊達家の絆展	12,120
昭和60年	34,361	599,377	南予画人展	3,265
昭和61年	31,391	630,768		
昭和62年	47,568	678,336	伊達政宗・秀宗展	10,406
昭和63年	36,241	714,577	愚渓のだるま展	2,892
平成元年	32,212	746,789	春山公遺墨展	1,894
平成2年	34,632	781,421	（プレ市制７０周年記念）高畠華宵展	4,611
平成3年	35,324	816,745	（市制施行７０周年記念）中井コッフ展	4,597
平成4年	31,827	848,572	（市制施行７０周年記念）伊達宗城展	4,329
平成5年	32,348	880,920	宇和島藩主伊達家菩提寺展	4,746
平成6年	30,074	910,994	南予地区神社社宝展	4,660
平成7年	29,007	940,001	開館２０周年記念特別展 佐賀藩鍋島ゆるぎなき縁展	7,141
平成8年	25,918	965,919	南予刀剣展　鉄に宿る日本の美	4,948
平成9年	21,996	987,915	南予武具甲冑展－足軽から大名まで－	2,503
平成10年	21,837	1,009,752	－家臣の雄叫び－宇和島藩主藩士展	2,734
平成11年	13,815	1,023,567	－生誕１１１年里帰り－高畠華宵展	2,933
平成12年	22,096	1,045,663	（宇和島城築城４００年祭）宇和島伊達家文化の華	
平成13年	15,527	1,061,190	河崎蘭香－南予美人画の諸相－展	1,804
平成14年	15,060	1,076,250	心眼を開く－南伊予の傑僧－展	2,392
平成15年	14,222	1,090,472	西園寺十五将　時代の物語　語りつがれる歴史展	2,189
平成16年	14,359	1,104,831	村壽・宗紀・宗城の時代展	1,493
平成17年	12,293	1,117,124		
平成18年	11,684	1,128,808	和のたしなみ、数寄の風雅	1,585
平成19年	11,818	1,140,626	京の雅、伊達の華 ～宮廷文化への憧れ　伊達家伝来調度品を中心に～	1,913
平成20年	12,022	1,152,648	絵図が語るもの ～京都の洛中洛外と宇和島城下の変遷～	1,317
平成21年	25,242	1,177,890	戦国武将伝－信長・政宗・秀吉・家康－	12,011
平成22年	19,579	1,197,469	戦国浪漫～天下人の風流～	8,275
平成23年	15,744	1,213,213	縁（えにし）－彦根藩井伊家と宇和島藩伊達家の名宝展－	3,579
平成24年	35,840	1,249,053	政宗と秀宗－序章－	6,871
			政宗見参！	13,208
平成25年	13,120	1,262,173	結の華-佐賀鍋島家と宇和島伊達家の幕末・明治-	2,086
平成26年	15,236	1,277,409	天下の伊達　武将のモードと文化 ～大徳寺・高台寺の名宝を中心に～	3,043
平成27年	23,284	1,300,693 ～	宇和島伊達400年祭 春期特別展 秀宗入部400年 ～宇和島伊達家のはじまりと大名家の雛まつり	3,424
			宇和島伊達400年祭 秋期特別展 仙台と宇和島-政宗からの遺風と画家の爛熟期-	6,421
平成28年	16,783	1,317,476	太閤さん、おかえりなさい ―光信と桃山期・江戸初期の狩野派―	2,437
			パークス来航150周年記念 海、遙か ―薩摩藩島津家と宇和島藩伊達家―	2,004
平成29年	17,413	1,334,889	秀吉と利休―唐物とわび―	3,121
			伊達×刀剣―武家の宝物と五箇伝の名刀―	3,900
平成30年	14,221	1,349,110	大名家と婚礼道具 －資料から伝わる花嫁への思い－	2,009
平成31年	10,770	1,359,880	紡がれし雛の習ひ －京都・老舗人形司の技と美－	1,503
令和2年	6,343	1,366,223	没後400年山家清兵衛　伊達と和霊様 －忠直剛毅の軌跡－	1,242
令和3年	6,162	1,372,385	武具の煌めき －武家のPRIDE－	1,892
令和4年	8,063	1,380,448	重文 豊臣秀吉像 修理後初公開記念 「ほどく・なおす・つなぐ」	1,695
令和5年	8,959	1,389,407	対決！大坂の陣 －宇和島伊達家の誕生と真田家との絆－	1,568
令和6年	9,829	1,399,236	城つなぐ －藤堂高虎と伊達の宇和島城×天下人と四国の城郭	2,585
令和7年	12,255	1,411,491	仙台市・宇和島市歴史姉妹都市提携50周年記念特別展 伊達の遺伝子－我が祖先（おや）は奥の最上や天の川－	2,543



2．必要な経費について

（2）維持管理費

イベント等の具体例

企画展・特別展ごとに参加体験型のイベントを企画し、賑いを創出する。



呉の4施設（大和ミュージアム・入船山記念館・くれ観光情報プラザ・てつのくじら館）をめぐるスタンプラリー



神戸海洋博物館：ナイトミュージアム2020

季節や歴史文化等を題材にしたイベント等を開催。好奇心や制作意欲を触発することのできる学習機会を提供し、情操教育やシビックプライドの醸成につなげる。



中野区立歴史民俗資料館：
れきみんサマーフェスタ2023



山梨県立リニア見学センター：
夏とリニアのイベント

広場や天赦園との連動性を活かしたイベントの検討。



横浜人形の家：ピアノコンサート



文京区立森鷗外記念館：
クリスマスコンサート



神戸海洋博物館：
ハロウィンコンサート

エントランスホール等を活用し、ダンスや音楽等の活動発表の場を提供。
新博物館では天赦園、天赦公園との連動性を活かしながら、様々なユニークベニュー（特別な会場）としての活用を積極的に検討・促進していく。





すみだ北斎美術館：親子での浮世絵版画擦り体験